

## 【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	マギル大学	参加 プログラム名	マギルプログラム	国名	カナダ
氏名		学籍番号		学科	英語英文学科
参加時の 学年	3年	参加費用 (日本円での概算)	110万円程度		
参加日程	2023年 7月 8日 ~ 2023年 7月 30日 ( 3 週間 )			記入年月日	2023年 8月 10日

## ① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

私が今回の研修に参加した目的は3つある。1つ目は、自分の英語力を確かめるためである。今まで海外渡航の経験がないため、自分の英語力がどこまで通用するのか確かめたかった。2つ目は海外経験を通して広い視野を手に入れるためである。日本と海外の違いから新たな物事の捉え方を学びたいと考えた。そのために現地の人と積極的にコミュニケーションを取って、充実した時間を過ごしたいと考えていた。3つ目は積極的な異文化交流をすることである。今回が初めての海外渡航であったため、経験値の面では不利なことがたくさんあったかもしれないが、体験する全てのことに新鮮さと新しさを感じることができるといふ強みもあった。これ活かして、文化や考え方など、たくさんの違いを肌で感じることを目的であった。また、共通点も見つけて、今後の学習に活かしたいと考えていた。

## ② プログラムについて

研修・活動の感想

まず、午前中の授業について、たくさん発言する場面があったので、スピーキング力が鍛えられた。先生が全員に均等に話しかけていた印象だったので、誰かが偏って発言するということはなかったように思えた。また、グループワークが多かったので、意見交換を英語でする場面がたくさんあった。その時も先生が全グループ回って、生徒と積極的にコミュニケーションを取っていたので、最初は自信がなくて英語を話すことが恥ずかしく感じていたが、3週目にはカタコトでも失敗しても何も感じないほど、英語を話しやすい環境を先生が作って下さった印象だった。午後のアクティビティではマギル大学の学生がモンリオールを案内してくれた。5人グループに1人学生がついてくれたので、授業よりも会話をする機会が多かった。そこでは、歳の近い人との会話だったので、砕けた表現を学ぶことができた。日本の学校に通っているだけでは、砕けた表現を学ぶ機会がほぼないに等しかったので、日常会話をする時に使う表現を現地の学生と会話することを通して学ぶことができた。

研修・活動以外の部分についての感想

たくさんのオプションがあった。レジデンスモニターが毎晩、夕飯を食べた後にお出かけするオプションを準備して下さったので、たくさんのアクティビティが経験できた。特に、ミニゴルフやボウリング、レーザークエストではチームを作って楽しむアクティビティだったので、一緒に行った津田の学生と仲良くなる機会にもなった。現地のアクティビティを経験しながら、交友関係を作れたのでオプションアクティビティに参加することはとても有意義な時間になった。オプションアクティビティには、ほとんど全員の学生が来た印象だった。また、それだけでなく、モンリオールについて知るいい時間にもなった。夕飯後の時間を利用して散歩に行ったり、買い物に行ったりしたので、大学や寮の近くについてよく知る時間になった。最初はレジデンスモニターが寮の近くを散歩する時も着いて来てくれたのだが、だんだん皆周辺の土地勘を得て行くと、自分たちだけで出かけることができるようになっていった。3週間でそれくらいのことができるようになる知識をレジデンスモニターがくれた。レジデンスモニターは常に私たちの滞在時間が有意義になるようにたくさんのことを提案してくれたのでありがたかった。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

現地学生との交流はConversation Partnerのみだった。津田の学生には6人のConversation Partnerがいた。クラスごとに3人ずつに振り分けられていたが、クラス関係なく交流ができた印象だった。Conversation Partnerとは午後のアクティビティと数人はオプションアクティビティにも来ていたので主にその時間のみでの交流だった。その他の場面での交流はなかった。

## ③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今回の経験から、私の英語力は自分が思っているよりも悪くはないということを知ることができた。最初は自信がなくてなかなか自分から英語で話しかけることができなかったのだが、だんだん英語を話していく過程で、自分の英語が通用することやコミュニケーションの方法を学ぶことができたので、自信を持って英語を話すことができるようになった。また、日本よりも見ず知らずの人に話しかけやすい環境だったので、わからないことがあれば、現地の通リすがりの人に尋ねることもできるようになった。最初は日本と同じ感覚で、見ず知らずの人に尋ねることを躊躇うことが多かったのだが、現地の学生がわからないことをすぐに通リすがりの人に尋ねていたのので、それが普通であるということがわかってから、話しかけやすかった。これも自分の英語力が悪いものではないということを知ることができたからこそできるようになったことだと思う。今回の海外経験を通して、私の英語力に可能性があること、海外での生活が思っていたよりも難しいものではないということを知ることができた。機会があったら、海外に長期滞在してみたいと思えた経験になった。もっと英語力を鍛えてまたカナダに行きたいと思う。

## ④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

洗剤やシャンプーなどの消耗品は日本から持っていったほうがいいと思った。海外で買うと、値段が日本よりも高い上に量も多いので使いきれず、泣く泣く捨てていた人が多かった印象だった。私はこのプログラムに参加して良かったと思った。毎日充実したアクティビティがあったので、忙しくて疲れはしましたが、3週間本当に有意義な時間を過ごすことができた。私は初めての海外経験がカナダで良かったと思う。理由は移民の国ということもあり、外国人だからと差別されることがほとんどなかった。また、日本よりも親切な人が多く、わからないことを知らない人にも聞きやすい環境だった。自分の英語力に自信がなくても、モンリオールには英語を話せない人がたくさんいるからか、現地の人は優しく、英語を最後まで聞いてくれた。モニター制度もしっかりしているので、滞在中に不安なことは1つもなかった。もし海外に初めて行く人がいたら、マギルプログラムをおすすめしたい。



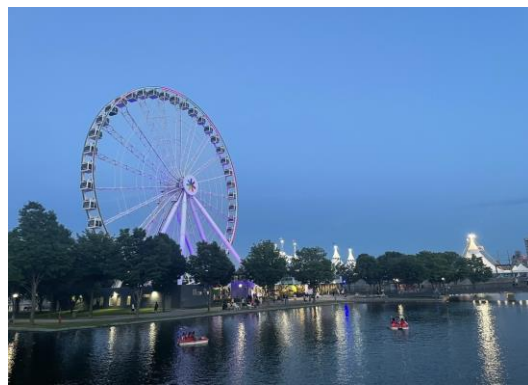
寮の部屋からの景色



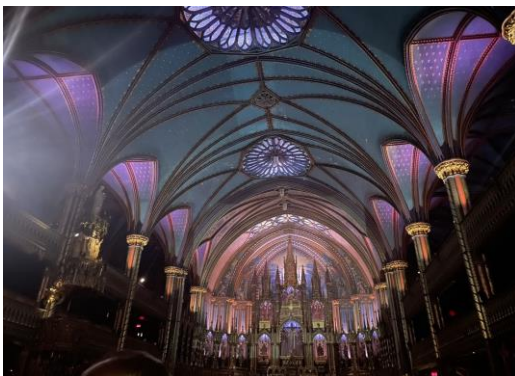
教室



オタワトリップ



Old Port



ノートルダム大聖堂



モントリオール



午後のアクティビティ